



編集機能



地域連携

T 発面 東京どんぶらこ 記事連動 立教大学・池袋移転100周年企画 立教大学を中心に池袋西口を特集

立教大学が池袋にキャンパスを移転して今年で100周年を迎える。

これまで立教大学は豊島区と連携して、東京芸術劇場との連携講座「池袋学」や「としまコミュニティ大学」、「新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館」など池袋を中心にさまざまな取り組みを行っている。

100周年を迎えるにあたり、大学側の池袋の街とのつながりを生活者に発信したいとの考えを聞き、「東京どんぶらこ」との紙面連動企画を提案した。T発担当でも池袋西口編を6月に予定していたため運よく時期も重なり実現に至った。掲載後の読者調査は編集記事に対してシンプルなクリエイティブを評価する読者の声が目立ち、記事との連動で広告接触率も高い結果となった。

今後も広告主の意向に沿った提案をしていきたい。

(東京本社広告三部 高柳 有紀)



毎週土曜日掲載 東京新聞朝刊・最終面T発 東京の街を紹介する人気記事 「東京どんぶらこ」

新聞広告読者調査結果 『広告接触率』 = 80.3% 東京新聞・5段カラー平均 68.8%を大きく上回る

住宅街に菓子焼く甘い香り... 池袋駅の西口エリアは複合商業施設や飲食店などともに賑わいがあり、しばしばアート系のイベントで賑わっている。そこからは10分ほど歩く立教大学。バチスタリー・バチスタは大学に隣接する静かな住宅街の一角にある。カフェなどにお菓子を加えていた店主の藤澤さん。2017年10月から現在の場所で飲食販売を始め、特に宣伝せず、目印は看板と、お菓子焼く甘い香りのみ。たまたま通りかかったという客が多く、口コミで少しずつ評判が広がっている。「看板が飲食家より目立つ。看板は楽しい」と藤澤さんは話している。実は店舗で評判の定番だ。調理や接客にさげすみない笑顔が感じられるのは心配り。先代は焼きたてだったが、現店主の藤澤さんが継ぐべくにこだわった。「飲食店

- 〈読者の声〉
- ・力強さを感じた。読みやすくまとまっていた (男性30代)
 - ・ブランドカを感じた (男性30代)
 - ・この広告の上の部分が関連記事でその流れて下の広告が目に入った (男性40代)
 - ・「東京どんぶらこ」の記事と連動していて、とても良い広告だと思いました (50代男性)
 - ・伝統を感じさせる学舎。言葉は少ないけれどインパクトはある (50代女性)
 - ・美しい校舎が印象的、100周年ということで注目しています (60代女性)



池袋の街とともに 立教大学移転キャンパス100周年

立教大学移転キャンパス100周年サイト
www.rikkyo.ac.jp/ikebukuro100th

立教大学

新聞広告共通調査プラットフォーム J-MONITOR

←2018年6月16日付 東京新聞朝刊 編集記事10段+広告5段